

アークフラッシュ施工された老人施設からは5年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<< 通販開始 >> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

結核集団感染: ネットカフェで従業員13人 川崎市

川崎市は17日、同市川崎区内のインターネットカフェで、従業員13人が結核に集団感染したと発表した。店をホテル代わりに長期間利用していた客から感染が広がったと見られる。カプセルホテルより安価なネットカフェで一夜を過ごす客も多く、同市は業界団体を通じて注意を呼びかけることを検討しているが、店名については「店の協力を得られなくなる」として公表していない。

市によると、今年2月、店を利用する40代の男性土木作業員が、結核と診断され入院。男性は今年1～2月、週に5、6回の頻度で店を宿泊場所として利用しており、市が従業員を検査した。

その結果、21人の従業員のうち19～27歳の男女13人が結核に感染。うち2人が発病したが、いずれも症状は軽いという。男性と従業員の菌は同一のものと判明した。店はJR川崎駅近くの繁華街にあり、24時間営業。漫画が読め、食事もできる。深夜に入れば1500円前後で一晩過ごせる。仕切られたブースもあり、深夜はほぼ満杯になるという。

市は「男性と同時期に利用した人は感染の恐れがある。心当たりがあれば、各区保健福祉センターに連絡してほしい」と呼び掛けているが、店名は公表しない姿勢だ

* とんでもない話ですね！！店の売り上げと人間の健康、命とどちらが大切か？！！と私は言いたい(怒)

<< 台湾では脅威に怯える >>

鳥インフルエンザの人間への感染に対して過ってのスペイン風邪のような100万人規模の死亡者が出る可能性を指摘しつつ、イギリス政府が躍起になって、情報の沈静化を図っているが、遠くアジアのSARS経験の台湾では早くも、その脅威に対して情報が複雑に浸透しつつある。

「大流行起きる」とWHO 新型インフルエンザ

【ジュネーブ17日共同】世界保健機関(WHO)の李鍾郁事務局長は17日、ジュネーブでの講演で、人の中での新型インフルエンザ大流行が「起きる」と断言、発生源は「鳥インフルエンザの大発生が続く東南アジアのどこかになる」との見解を示した。

李事務局長は「いつとは言えないが、新型ウイルスはいつ出現してもおかしくない」と指摘、「(毒性の強い)鳥インフルエンザのH5N1型ウイルスが変異して、人から人に感染するようになる可能性が最も高いと考えられる」と述べた。

事務局長はまた、世界各国が感染抑制プランを策定し、大流行発生に迅速に対応できる態勢を整えることが必要で、有効なワクチンを短期間に大量生産できる方策を検討すべきだと訴えた。

*** 発行責任者:株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～24号までを配信希望の方はメールにて申込ください。